

このまちの100年

「中野」

明治中期以降、駅周辺には陸軍施設が設置され、戦後、跡地は警察大学校など大規模な公共用地となりました。近年一帯では再整備が行われ、中野四季の都市など新しいエリアが誕生。また、中野ブロードウェイがサブカルチャーの聖地になるなど、若者にも人気の街となりました。



大正後期～昭和初期

電信第一連隊。中野駅の北には軍事施設が広がっていた



昭和6年頃

多くの政治犯や思想犯が収監された、豊多摩刑務所



昭和戦前期 本町

東京初の専門結婚式場として開業した、日本閣



昭和29年

中野北口美観商店街（現在の中野サンモール商店街振興組合）。昭和33年アーケードがかけられた



昭和29年

昭和4年、中野駅は広い土地を求めて東側へ移転した



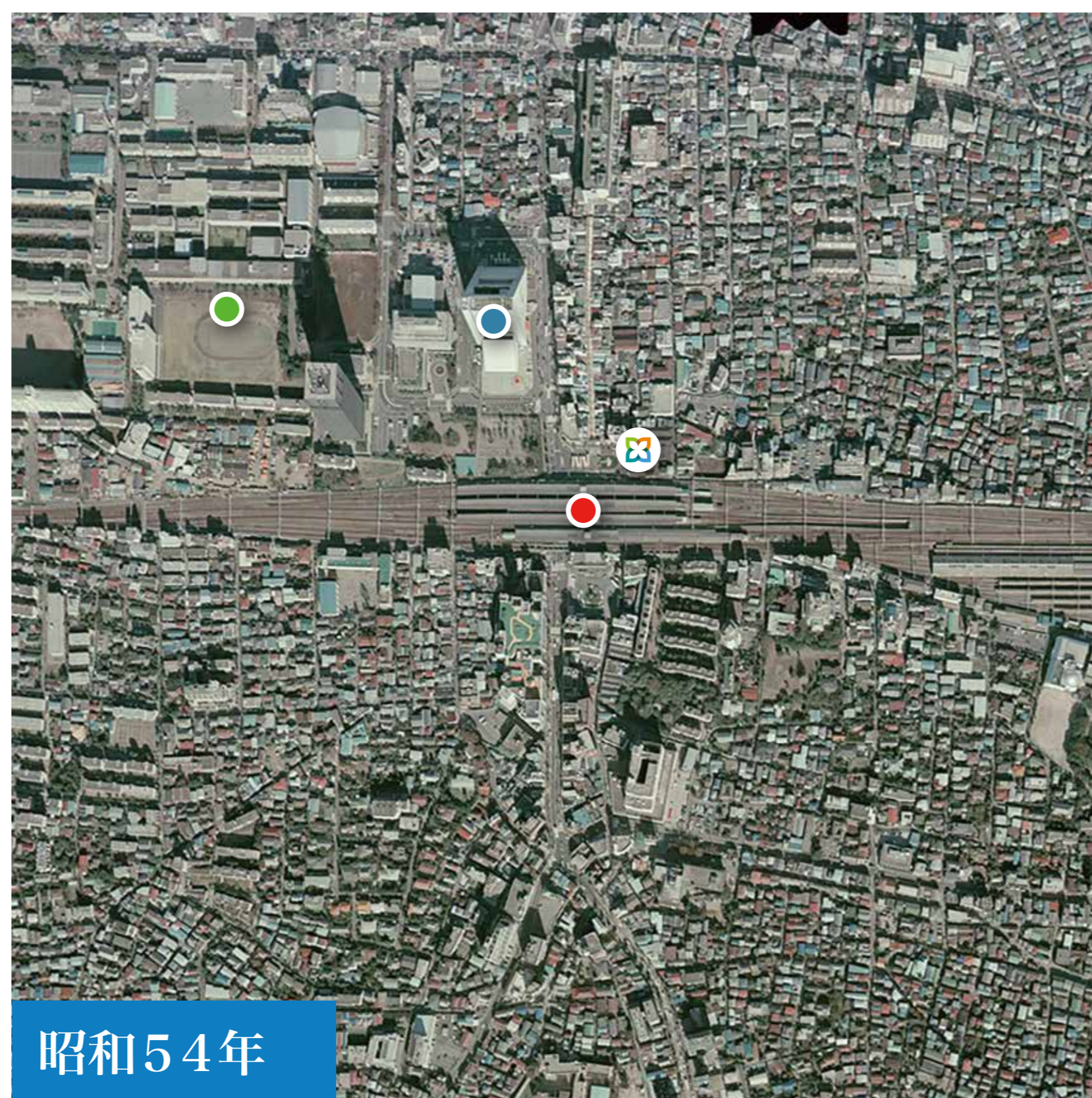
昭和41年

完成した中野ブロードウェイ。手前はサンプラザ建設予定地

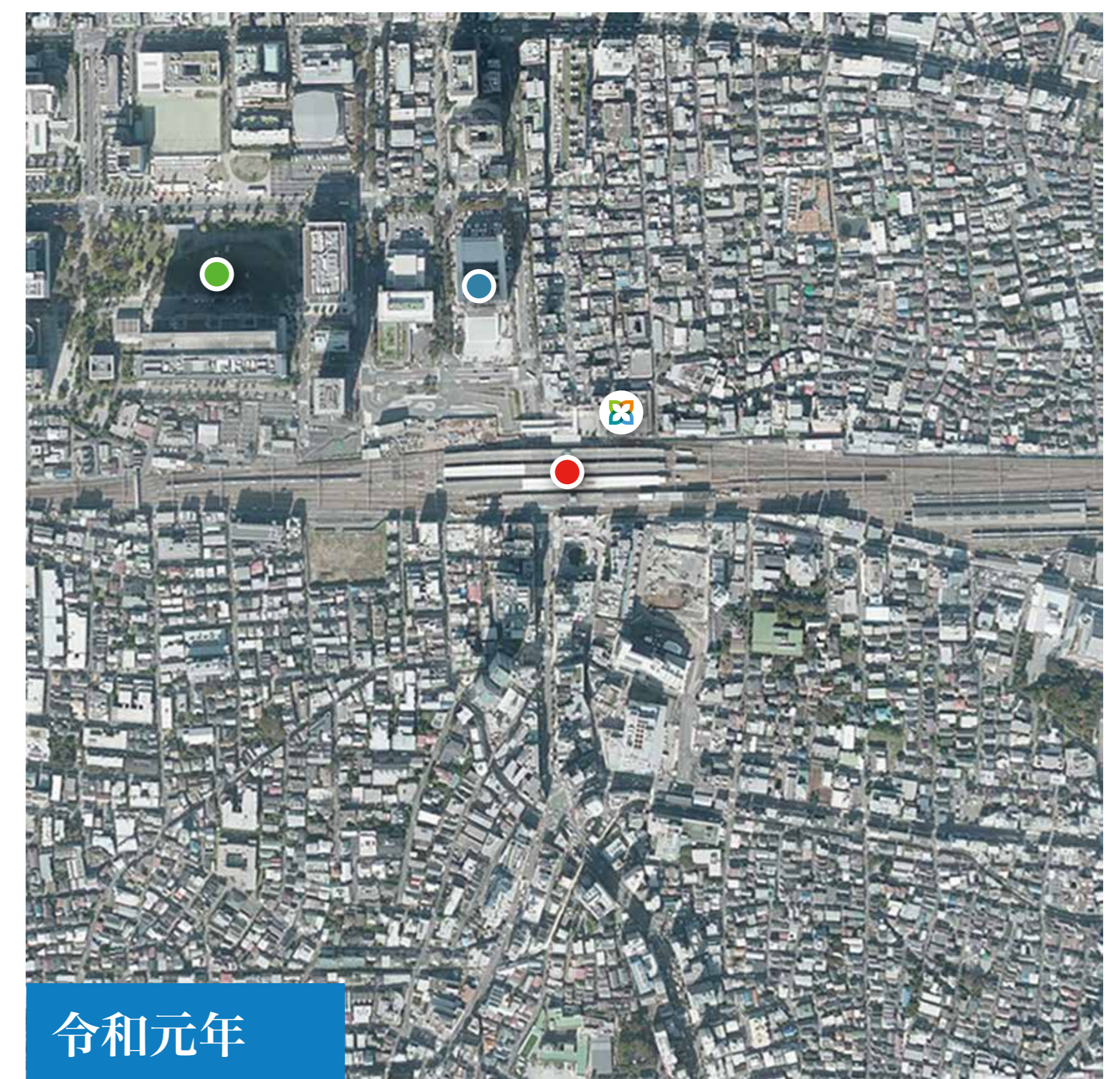
上空からみた中野エリア



昭和19年



昭和54年



令和元年

: 現在地
 : 中野サンプラザ : 陸軍中野学校／警察大学校／中野四季の森公園 : 中野駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロモチ